

ゆう&あい



令和8年
3月号
毎月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

～播磨町社協 生活応援企画!!～

『だれかの明日を支えるプロジェクト』

【募集期間】 令和8年2月16日(月)～3月7日(土)

播磨町社会福祉協議会(以下、社協)には、様々な理由で「今日明日の食べ物にも困っている。」という相談が寄せられる事があります。町内で生活にお困りの方々が、少しでも安心して過ごしていただけるよう支援する取り組みです。

【何をやるの?】 関係者や住民の皆さまの協力を得て、社協で保存食の寄付を受け付け、支援が必要な方へ順次お届けする活動に取り組みます。「ご家庭に眠る保存食を寄付して支援する」という方法で、生活にお困りの方へ「エール(=応援、励まし)」を届けたいと考え、『支えるプロジェクト』と名づけました。

【ご寄付いただける場合は・・・】 期間中に社協の事務所がある「播磨町福祉しあわせセンター」1階に回収BOXを設置しますのでご持参ください。

【対象品目】 缶詰、インスタント食品、レトルト食品、防災非常食などの保存食で、賞味期限が明記されており、その期限が2ヵ月以上あるもの。



問 播磨町社会福祉協議会 TEL 079-435-1712

令和7年度 地域歳末たすけあい事業

ひとり親家庭等応援新中学生制服・体操服助成購入事業

令和8年4月に中学校へ入学するお子さんがいる親家庭等を対象に、制服や体操服を購入する費用の一部を歳末たすけあい事業により助成します。

対象者 播磨町内にお住まいで、令和8年4月に町内の中学校へ入学する子どもがいる児童扶養手当を受給しているひとり親家庭、または両親のいない家庭で、助成を希望される方

申込期間 令和8年2月27日(金)～3月18日(水)

内容 助成金額は制服および体操服の購入代金の範囲内とし、上限ひとり20,000円(制服15,000円・体操服5,000円)とします。

申請書類

- ・『ひとり親家庭等応援 新中学生制服・体操服助成購入事業』申込書
- ・児童扶養手当証書(写し)
- ・健康保険証など新入学生徒の生年月日がわかる書類(写し)
- ・制服・体操服を購入した時の保護者またはお子さんの氏名が記入された領収書(写し)
- ・振込口座確認のための通帳(写し)

※募集要項・申請書類はホームページからダウンロードしていただけます。

申 問 播磨町社会福祉協議会 TEL 079-435-1712

各種相談(無料) 日:実施日、時間 場:面談場所 問:問い合わせ・申し込み先

弁護士による法律相談(30分程度) 高齢、障がいの方の財産管理など(成年後見制度)について、相談をお受けします。	日: 3月3日(火)13時30分～15時30分 場: 播磨町福祉しあわせセンター	★原則、成年後見センターの相談や心配ごと相談を受けてからになります。 問: 播磨町社会福祉協議会 事務局 TEL: 079-435-1712 Mail: info@harima-wel.or.jp
心配ごと相談 民生委員・児童委員がご相談を伺います。	日: 3月3日(火)・17日(火)13時～15時 場: 播磨町福祉しあわせセンター	
困りごと相談 播磨町人権擁護委員がご相談を伺います。	日: 3月12日(木)・26日(木)13時～15時 場: 播磨町福祉しあわせセンター	地域のつどい場は こちらから
成年後見相談 専門職がご相談を伺います。	日: 3月12日(木)13時30分～15時 社会福祉士 日: 3月18日(水)13時30分～15時30分 司法書士 場: 播磨町総合福祉センター	問: 播磨町成年後見センター TEL: 079-435-8801 Mail: kouken@harima-wel.or.jp
認知症家族の会	日: 3月14日(土)13時30分～15時30分 場: 幸ばあちゃんの家	問: 地域包括支援センター TEL: 079-435-1841 Mail: hokatsu@harima-wel.or.jp
オレンジカフェ	各会場で実施中	オレンジカフェの詳細はこちら
家族介護者のつどい	日: 3月25日(水)13時30分～15時30分 場: 播磨町総合福祉センター	
出張介護相談	日: 3月17日(火)10時～12時 場: 土山駅南交流スペース(きつづなホール)	
障がい者相談員相談	日: 3月10日(火)13時30分～15時 場: 播磨町総合福祉センター	問: 播磨町総合福祉センター TEL: 079-430-6000 Mail: fukusi03@town.harima.lg.jp

日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業)

自分らしく、住み慣れた播磨町で安心して生活するために社会福祉協議会がお手伝いします。

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない。銀行に行ってお金を払い戻したいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来たとき、どう対応したらよいかわからない。毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、高齢者や障がいのある方々が住み慣れた地域で生活できるように支援する事業です。

利用できる方

認知症や知的障害、精神障害のため、日常生活上の判断に不安のある方
 ※契約によるサービスのため、契約締結が可能な判断能力が必要となります。

利用料

1時間につき、1,000円の利用料が必要です。(利用料減免の対象者あり)

サービスのしくみ

専門員が訪問して、「契約締結ガイドライン」に基づく面談のうえ、ご本人の契約能力の有無を見極めます。その後、ご本人とサービスの内容を話し合い、支援計画を立て契約を結びます。

●契約後は、社協に登録されている「生活支援員」が支援計画に基づいてサービスを提供します。

内容(一部抜粋)

福祉サービスの利用援助 ●さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供

●福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの支援

日常的金銭管理サービス ●福祉サービスの利用料の支払い代行 ●預貯金の払い戻しや

解約等の手続き ●税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き

書類等の預かりサービス ●希望される通帳や印鑑、証書などの書類のお預かり



問 社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会ホームページ 播磨町社協 Click!
 E-mail info@harima-wel.or.jp TEL (079) 435-1712 FAX (079) 436-5610



歳末たすけあい募金 ありがとうございました。

12月7日(日) JR土山駅改札前、同14日(日) コープ播磨店及び町民のつどい講演会会場で、ガールスカウト兵庫第26団の皆さんが元気な声と溢れる笑顔で「歳末たすけあい募金」活動をされました。

両日ともに青空の晴れ渡る初冬の寒い日でしたが、JR乗降の方やコープさんでのお買物の方、また講演会参加者へ、元気よくお声かけして下さいました。

皆さんより寄せられた募金はユニセフへ届けられると共に、1月6日(火)に当会へ歳末たすけあい募金として55,494円をご寄付いただきました。

スカウトとリーダーの皆さん、ありがとうございました。ご寄付いただきました募金は要援護世帯等が年末年始を安心して過ごしていただけるよう活用させていただきます。



“ふれあい・語りあい・支えあいの地域(まち)づくり”に ともに取り組んでみませんか!

私たち播磨町社会福祉協議会では、『はりまちよう』のみんなが、より安心して暮らせるよう「人と人とのつながり」が増えるような場所や機会を増やそうと活動しています。そこで私たちと一緒に働いていただける方を募集します!

居宅介護支援事業所ケアマネジャー	(正 規 職 員) 1 名
事務局事務担当職員	(準 職 員) 1 名
地域包括支援センター介護予防プランナー	(準 職 員) 1 名
デイサービスセンター生活相談員	(準 職 員) 1 名
デイサービスセンター看護師	(非 常 勤 職 員) 1 名
デイサービスセンター宿直職員	(非 常 勤 職 員) 1 名

※採用条件等、詳しくは当会ホームページをご覧ください。
お待ちしております。

播磨町社協 Click!

「しまちゅんおしゃべりコーヒー@野添コミセン」

居場所コーディネーターだより

◆◆◆ 聞き合い話しあいの ◆◆◆ ◆◆◆◆◆ カードゲーム ◆◆◆◆◆



2つのテーマ「学校に行っていない子にとって必要なものはなんですか?」「これからの教育(学校)に必要なものはなんですか?」についてお互いの思いや考えを聞き合いました。不登校児やその親を対象とした居場所をひらくスタッフ、現役の小学校職員、不登校中の中学生、当事者の親、フリースクール運営者、地域のボランティアなど、不登校に関心のある方達が集まっていました。



カードゲームを用いて、参加者それぞれが考える価値観を5~6人の4グループに分かれて共有しました。主催側は「カードの言葉や絵を通すことで自分の内側から思ってもみない価値観に気づくこともあり、ゲーム性もあるので場の雰囲気为重くなりすぎずにすむ」と配慮されており、和やかな雰囲気ですぐに話やすい場づくりができていました。当事者中学生の言葉に大人が気づきを得て涙する場面も見られました。

◆◆◆◆◆ 4団体の協力チラシ ◆◆◆◆◆



町内で不登校関連の居場所をひらいている4つの団体が協力し、初めての開催となった今回の会では、想いの共有や支援のあり方の模索を一緒にしていきたいとの思いがありました。多様な立場からの意見で盛り上がったこの機会をきっかけに不登校関連の居場所4カ所の案内チラシが出来ました。今後も無理なくそういったイベントの開催を続けることを目指しています。

令和7年度 赤い羽根共同募金運動【追加報告】

2月号(1月24日発行)にて「令和7年度 赤い羽根共同募金運動」の報告を行いました。その後2自治会より募金をお預かりしましたので、最終総額が**2,772,567円**となりました。
ご報告とともに、ご協力いただきました皆さまに深くお礼申し上げます。